

令和4年度  
事業報告

社会福祉法人千曲市社会福祉協議会

# 令和4年度千曲市社会福祉協議会事業報告

## 1 重点目標の取組みについて

### (1) 住民参加と協働による地域福祉活動の推進

社協会費は今年度も区・自治会のご理解により加入率 80.2%でした。地域福祉への住民参加が定着しています。“つなぐ”をはじめ各種事業についても、民生児童委員協議会、ボランティア団体、社協支部等の協働により第三次地域福祉活動計画を起点とした様々な事業を実施しました。

### (2) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組み

生活支援体制整備受託事業の生活支援コーディネーターを5か所に配置し、地域のニーズや課題に対応した福祉活動（体操サロン、買い物支援）を展開しました。また、失業や食料品、電気代等の値上げによる生活困窮者への支援策としてフードドライブ活動を展開し生活支援に努めました。

### (3) ボランティア事業の充実及び福祉教育の推進

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業規模の縮小、人数制限等の工夫をしながら、ボランティア講座や出前講座等を実施し、ボランティアの普及に努めました。また、福祉教育では、感染対策のため ZOOM を活用しデイサービス利用者と交流を行うなど福祉教育の推進を図りました。

### (4) 高齢者等への包括的な福祉サービスを提供するための介護保険事業の経営

感染対策を徹底し介護保険事業所を運営しました。通所介護事業では、コロナ禍ではありましたが利用者も増え、増収。また、電気代等の値上げにより水道光熱費等が大幅に増えましたが、経費の節約と効率的な運営を行うことで、収支バランスは整いました。また、効率のみに縛られずに利用者に寄り添うという原点に立ち返り、より良いサービスの向上に努めています。

### (5) 地域で安心して生活できる環境づくりのための子育て支援事業の推進

児童の安心できる居場所として、市内9つの児童館・児童センターを運営しています。そのため、放課後児童支援員研修の充実や職員の相談窓口の開設、また、保護者が気軽に相談できる窓口としての支援体制づくりも強化を図りました。

### (6) 社協基盤の強化と働き方改革等の制度への取り組み

社協の基盤強化に向け策定した収支改善計画（令和3年度から10年間）により、社協の取組むべき事業を明確にし、健全な経営を目指す人員配置や職員の役割分担、職員相互の尊重と報告連絡相談の徹底等を図りました。また、新たな人事評価制度を実施し、人材育成と職場内環境整備に努めました。

## 2 会務の運営

会務の運営は、監事による監査指導を基に理事会及び評議員会に諮り適正な執行に努めました。

### (1) 理事会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	6月7日	7人	令和3年度事業報告の承認について 令和3年度資金収支決算の承認について 第1回評議員会の招集について 評議員候補者の推薦について
第2回	12月12日	8人	評議員候補者の推薦について 児童センター等に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
第3回	3月10日	8人	組織規程の一部改正について 令和5年度事業計画について 令和5年度資金収支予算について 第2回評議員会の招集について

### (2) 評議員会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	6月27日	17人	令和3年度事業報告の承認について 令和3年度収支決算の承認について 理事の選任について
第2回	3月24日	16人	令和5年度事業計画について 令和5年度資金収支予算について

### (3) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任のため開催しました。

回	開催日	委員	主要議案
第1回	6月7日	森義一郎（外部） 高松久男（監事） 島谷守（事務局員）	評議員候補者（10名）の選任について
第2回	2月21日	森義一郎（外部） 高松久男（監事） 島谷守（事務局員）	評議員候補者（2名）の選任について

### (4) 外部監査の開催

決算監査に向けて税理士による監査を実施し、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を精査し、助言を受けました。

区分	開催日	税理士	監査対象
決算 監査	5月23日	成澤会計事務所 成澤税理士	令和3年度財産目録 貸借対照表及び収支計算書

(5) 監査会の開催

令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を監査

区分	開催日	監事	監査対象
決算 監査	5月31日	高松久男 赤沼義敏	令和3年度決算監査 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書
中間 監査	11月18日	高松久男 赤沼義敏	令和4年度中間監査 事業執行状況、財産目録、貸借対照表及び収支計算書

(6) 正副会長会

会務の適正かつ効果的な執行を図るため、会長、副会長、事務局長及び課長との打合わせ会議を開催し、社協運営の基本方針・重要施策及び経営に関する事項等について協議しました。

回	開催日	主たる協議事項
第1回	5月24日	第1回理事会・評議員会について 長野県共同募金会千曲市支会委員会について
第2回	11月15日	中間監査について 社会福祉大会について 第2回理事会について
第3回	3月7日	第3回理事会、第2回評議員会について 退職辞令交付式、辞令交付式について

(7) 各種団体による共催及び後援依頼

福祉のイベント等に後援を決定しました。

区分	依頼件数	決定件数	内 訳
共催	1	1	第17回 人権を守る市民集会
後援	9	9	福祉の夢まつり、長野県身体障害者福祉大会、 「咲む」長野・千曲地区上映会、フードドライ ブ、一輪車レース、ちくま野外コンサート、 千曲市戦没者追悼式、戸倉上山田ライオンズ クラブ子ども食堂、市民公開講座「豊かな人生 のために今できること」

(8) 広報・情報の提供(社協会費、共同募金配分金事業)

広報誌「社協だより」を偶数月に発行し全戸配布しました。また、適時に社協ホームページやフェイスブックでイベント等を随時発信しました。

### (9) 令和4年度千曲市社会福祉大会

感染拡大防止の観点から、老人クラブ大会と合同で表彰のみ行いました。

開催日	場所	主な内容
11月25日	戸倉創造館大ホール	社協会長表彰：8個人・団体 老人クラブ会長表彰：1団体 県シニアクラブ会長表彰：6個人・団体 共同募金会会長表彰：2団体

## 3 社協会費納入事業

相談事業や移送自動車貸出事業等の地域福祉推進事業、支部社協事業、ボランティア事業、法人運営等を実施する大切な財源となる会費を区長・自治会長さんはじめ市民、法人の普通会費も8割以上の世帯から協力を得られました。

法人会費について、廃業や経営状況の悪化などの理由により減少傾向にあります。また賛助会費についても、地域の役員、民生児童委員、社協職員が主な会員ですが減少傾向にあります。

会費実績表

年度 項目	R4	R3
普通会費	17,866世帯 17,743,600円	18,045世帯 17,972,200円
	加入率80.2%	加入率80.5%
法人会費	593社 1,566,000円	605社 1,625,000円
賛助会費	376人 412,500円	472人 474,000円
特別会費	14人 140,000円	14人 140,000円
会費実績合計額	19,862,100円	20,211,200円

## 4 苦情解決システム

利用者やその家族、市民等から寄せられた苦情・意見等はその都度、担当課長や各事業所長が真摯に対応することにより解決を図っており、第三者の苦情解決委員に苦情(意見・要望)を解決していただく案件はありませんでした。

苦情の主な内容は、提供しているサービスに関するものについては、「職員の言葉づかい・態度」「事業所内部での情報共有不足」等、会費に関するものについては、「他の福祉施設は会費がないのに、なぜ社協はあるのか」「支部役員の賛助会費は強制なのか」等がありました。

苦情・意見等受付件数

(件)

年度 苦情・意見等の内容	R4	R3
職員の接遇（態度）に関するもの	7	0
提供しているサービスに関するもの	5	9
事故・被害・損害に関するもの	0	1
事業所運営等に関するもの	1	0
社協会費に関するもの	2	2
要望・意見	2	0
その他	0	0
合 計	17	12

## 5 人事・労務管理

### (1) 職員数

年度 区分	職員数構成比（3月末日現在）				
	R4	R3	増減	R4	R3
正規職員	27人	31人	△4人	18.8%	19.5%
非正規職員*	117人	128人	△11人	81.2%	80.5%
合 計	144人	159人	△15人	100%	100%

\* 嘱託職員・臨時職員・パート職員等

### (2) 離職率

年度 区分	R4		R3	
	退職者数	離職率	退職者数	離職率
正規職員	2人	1.4%	0人	0.0%
非正規職員	15人	10.4%	33人	20.8%
合 計	17人	11.8%	33人	20.8%

\* 退職者数には定年退職者は含まない。(3月末日現在)

参考：全産業の平均離職率 8.7%、医療・福祉は、9.9%（令和4年上半期雇用動向調査：厚労省）

### (3) 職員研修

入職者に対し新規職員研修を実施しました。また、長野県社会福祉協議会、長野県福祉人材研修センター等が実施する専門等研修に、オンラインで随時研修を実施しています。

対 象	研修内容	開催日	出席者数
新規採用職員	新規採用職員研修 「社会福祉協議会、社協事業について」 「各種手続き、事務連絡等」	4月1日	4人
管理者 会計担当職員	会計事務研修 「決算書の読み方、インボイス制度について」 講 師 成澤会計事務所 税理士 成澤 優一朗 氏	12月21日	16人

## 6 受託事業

千曲市からの委託を受け、各種社会福祉事業を推進しました。

### (1) 千曲市ふれあい福祉センター管理

#### 貸館運営状況

貸 館	第1 会議室	第2 会議室	第3 会議室	第4 会議室	第5 会議室	合計
人 数	0	0	278	998	1,572	2,848人

ボランティア団体、子育て団体、高齢者団体、障がい者団体などの登録団体に貸館を実施しました。第1・第2会議室はコロナワクチンのコールセンターとして利用されました。

### (2) 老人コミュニティセンター運営事業

老人コミュニティセンターは戸倉児童館・更級児童館・五加児童館に併設され、高齢者等のコミュニティーづくりの推進に資するため、千曲市に居住する老人、福祉団体及びボランティアグループ等に貸館を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一昨年度に引き続き、各部屋の利用定員を制限し、貸館を行いました。利用自粛傾向は続き、利用団体数自体が減少し(6団体減)、利用回数は前年同期より9回減少(前年比94%)、利用人数は249人減少(前年比75.5%)となりました。なお、更級老人コミュニティセンターについては、とくに下半期に増加傾向があり、地域のニーズが高いことが伺えます。

年度 利用状況	R4		R3	
	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数
戸倉老人コミ	227	72	478	84
更級老人コミ	506	65	491	53
五加老人コミ	36	3	49	12
合 計	769人	140回	1,018人	149回

(3) 地域包括支援センター（高齢者相談センター）運営事業

更埴川東地域包括支援センターと戸倉上山田地域包括支援センターにおいて、保健師（看護師）、主任介護支援専門員、社会福祉士が連携し、地域の高齢者に懇切丁寧な相談に努めました。また、要支援認定者の介護予防マネジメント業務を実施し、よりの確な福祉サービス利用支援に努めました。

相談受付延べ件数

①方法(手段) (件)			②相談者内訳 (人)		
地域 内訳	更埴川東	戸倉上山田	地 域 内訳	更埴川東	戸倉上山田
電 話	2,400	2,866	家 族	1,102	1,391
来 所	358	571	本 人	1,543	1,610
訪 問	1,442	1,723	関係機関	1,497	2,057
F A X	3	15	協力員	103	124
メール	41	55	その他	39	65
その他	40	17	計	4,284	5,247
計	4,284	5,247			

③相談内容：介護保険、予防プラン、生活住宅、医療・疾病等

介護予防支援計画（プラン）作成者数 (人)

項目	更埴川東	戸倉上山田
事業対象者	143	205
要支援1	1,492	1,481
要支援2	1,512	1,471
計	3,147	3,157

\* 「事業対象者」：要支援認定外の者で通所介護、訪問介護を利用している者

(4) 更埴地区老人大学・老人クラブ運営事業

①更埴地区老人大学

	R4		R3	
	学生数	講座回数	学生数	講座回数
合 計	66 人	15 回	86 人	15 回

66名の学生が入学しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、時間を短縮し開校式・終了式を挙行了しました。移動教室・野外研修は、感染予防を徹底し隣県研修を行いました。



## ②老人クラブ運営事業

年度 利用状況	R4		R3	
	単老数	会員数	単老数	会員数
合計	33クラブ	1,935人	41クラブ	2,322人

高齢者人口が年々増加するなか、老人クラブの会員は減少傾向が続いています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月の健康ウォーキングは中止。7月のマレットゴルフ大会は会員交流会として各地区で行いました。理事会は予定どおり6回開催し、事業の進め方や感染症対策について協議を行いました。単位クラブの活動も同様に延期・中止などを余儀なくされましたが、参加人数を縮小するなどの感染対策を講じながら実施しました。5月に新型コロナ緊急対策単位クラブ活動支援事業として、各クラブに会員数のマスクを配布しました。

また、老人クラブとしてフードドライブ事業も実施し、お米や食品等単位クラブより寄付いただきました。

## (5) 家族介護者交流事業

在宅介護者の交流や心身のリフレッシュを図るため社協11支部で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により9支部で実施しました。

## (6) 生活困窮者自立相談支援事業（まいさぼ千曲）

千曲市より委託を受け、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的として、生活困窮者からの多様で複合的な課題についての相談に応じ、情報提供、助言、計画の作成、家計改善支援を実施しました。

- ・相談者数 963人（うち新規134人、継続829人）
- ・相談支援件数 5,899件

### 新規相談者の年齢別内訳

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代~64	65以上	年齢不明	合計
男	1	4	6	5	10	7	15	21	69
女	2	6	9	4	6	2	14	22	65
計	3	10	15	9	16	9	29	43	134

### 【主な支援内容】

- ・支援計画件数 35件
- ・就職件数 22件
- ・住居確保金 6件
- ・家計改善支援 1,373件

## (7) 成年後見制度普及啓発等推進事業

判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、その権利を擁護するため成年後見制度の普及啓発の推進を図りました。

- ① 相談件数
  - ・新規 39 件 ・延相談件数 1,148 件
- ② 対象者別
  - ・認知症高齢者 741 件 ・知的障がい者 309 件 ・精神障がい者 96 件
  - ・その他（意識障がい等）2 件
- ③ 相談内容
  - ・制度説明 218 件 ・申立手続き支援 243 件 ・後見候補調整 49 件
  - ・申立て費用の説明 6 件 ・状況調査 738 件 ・身上監護 184 件
  - ・財産管理の相談 239 件 ・制度の必要性の相談 55 件 ・後見人等支援 87 件
- ④ 福祉サービス利用援助事業運営委員会（委員 8 人）
  - 2 回開催（6 月 16 日、3 月 15 日）

## (8) 生活支援体制整備事業

高齢者の介護予防と生活支援を応援するため生活支援コーディネーターを 5 圏域に配置しニーズに沿った生活支援サービスや介護予防の場を創出、また整備事業の周知と啓発を目的として一般市民向けの福祉フォーラムを開催しました。



### 〈更埴川東圏域〉

- ① コロナ禍における各地区のふれあい・いきいきサロンの活動支援
- ② 感染予防と密を避けたラジオ体操サロンの創出支援（屋代地区、倉科地区）
- ③ 買い物支援の提案（倉科地区）
- ④ 小地域の新しい居場所の創出支援（屋代地区）

### 〈埴生圏域〉

- ① 福祉施設を拠点とした健康まつりの開催や小地域の縁側サロンの創設支援
- ② ボランティアグループあけぼの会と連携した福祉講座の開催やサロン支援
- ③ 台風 19 号災害被災者宅への見守り支援

〈川西圏域〉

- ① 八幡地区お買い物市場企画への支援
- ② 八幡地区お買い物支援企画
- ③ 稲荷山地区健康ディスコの開催
- ④ ぬくもりカフェサロン、歌声サロンの開催



〈戸倉圏域〉

- ① 健康ディスコ in 戸倉創造館
- ② 小地域における個人宅や戸倉地域福祉センターを拠点とした居場所サロンの創設
- ③ 五加地区かみとくま食堂支援

〈上山田圏域〉

- ① よいところ見つけ隊の支援
- ② 上山田小学校と協力によるふれあいいいききサロン活動の活性化支援と新しい地域の居場所場所の創出
- ③ 小地域の居場所ラジオ体操サロン、縁側サロン等の創出支援



## 7 地域福祉推進事業

### (1) 社協支部長会の開催

支部活動の活性化に向け、地域福祉の現状や福祉課題等について社協 11 支部長による会議を開催しました。

開催日	主な内容
5月26日	社協会費の納入業務、ボランティア運営委員の選出について
9月7日	会費納入状況、共同募金運動の実施について
1月27日	役員改選について、支部事業評価について 等

### (2) ふれあい訪問事業（共同募金配分金事業）

75歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者のみ世帯、障がい者のみ世帯等のお宅を訪問する活動を通じて、ふれあいの機会づくりと安否確認を行うことを目的に実施しました。

対象者数内訳 (件)

種類 地区			
	食事券配布	品物配布	合計
更埴	3,738	2,767	6,505
戸倉	1,416	1,054	2,470
上山田	304	1,019	1,323
合計	5,458	4,840	10,298

・配布協力：各地区の民生児童委員とボランティア

### (3) 生活支援、相談事業

#### ①心配ごと相談・司法書士法律相談

	相談員	開所回数	場 所	件数	主な相談内容
心配ごと	6人	月1回	社協、人権センター あんずホール	3	日常生活・家庭家族
法律	司法書士会 派遣	21回	社協	35	新型コロナ禍のため8/18 9/1、9/15は中止

#### ②心配ごと相談員会の開催

開催日	場 所	主な内容
4月20日	社協	会議及び研修 「成年後見制度について～日常生活自立支援事業等～」

#### ③結婚相談所(会費事業)

- ・相談日の開所回数：毎月2回、上半期9回（相談員9人が2人体制で交代で実施）
- ・相談会場：あんずホール、戸倉創造館
- ・相談対応時間：午前9時～正午
- ・結婚相談員 9人

・結婚相談員連絡会議 6回

・イベントの開催

「みつけよう！二人の一步を ～個性心理学でみる相性診断 ♡～

9月3日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

「気軽に出会える軽食付き交流会」

12月10日 参加者不足のため中止

区 分	男 性	女 性	合 計
新規登録者数	13 人	9 人	22 人
登録者数	27 人	16 人	43 人
平均年齢	41.4 歳	35.8 歳	39.3 歳
相談者数	111 人	68 人	179 人
説明・申請書渡し	17 人	12 人	29 人
紹介希望者数	70 人	61 人	131 人

紹介、見合い数(坂城町の結婚相談所登録者含む)

区 分	人 数
紹介者数	70 人
見合い数	33 組

成婚数 1組

#### ④日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者を支援するため、4人の専門員と6人の生活支援員により、生活費の払い出しや福祉サービスの相談の支援をしました。

契約状況内訳

(人)

対象区分	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合 計
契約・解約状況				
契約者数	8	12	4	24
新規契約者数	0	1	0	1
解約者数	0	1	0	1

相談援助件数

(件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
503	801	224	5	1,533

⑤金銭管理・財産保全サービス（会費事業）

判断能力はあるが、身体的等の理由により預金の払戻しや財産管理が適切に処理できない身体障がい者、高齢者等を対象として通帳等を管理しました。

対象者

対象区分	高齢者	身体障がい者	その他	合計
契約・解約状況				
契約者数	2人	0	0	2人
新規契約者数	2人	0	0	2人
解約者数	2人	0	0	2人
相談援助件数	279件	0	0	279件

⑥法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な人の判断能力を補うため、社協（法人）が成年後見人になることにより成年被後見人の財産管理を行い、その権利を擁護して自立した日常生活を維持できるよう支援をしました。

受任件数 (人)

後見	保佐	補助	合計
13	5	1	19

(人)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
11	5	3	19

(人)

男性	女性	合計
11	8	19

※終了1名（本人死亡による）

相談支援件数 740件

財産管理	通帳管理、払戻し、支払い、不動産確認・調査、元帳等作成 相続手続き、保険等の管理
身上監護	サービス利用確認、入院・入所手続き、手帳更新、親族関係への連絡 高額療養費等手続き、見守り

⑦善意銀行（地域福祉振興基金益金）

市民の善意に基づく物品や金品をお預かりし、必要に応じて生活困窮者、団体等へ提供しました。

預託物品 市民より物品の預託を受け生活困窮世帯等へ配分しました。

主な物品・・・米、缶詰め、ビン詰め、インスタント食品、飲料、タオル等

配分先・・・生活困窮者、児童福祉施設、子ども食堂、社協介護保険事業所等へ支援

⑧寄付金等

寄付金 16件 計1,301,936円（地域福祉振興基金）

⑨生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯の生活支援のため資金の貸し出しを行いました。

貸付内容

種類	件数・金額	件数	貸付金額
	緊急小口資金	3件	300,000円
	総合支援資金	1件	92,000円
	教育支援資金	10件	5,096,000円
	合計	14件	5,488,000円

新型コロナウイルス特例生活福祉資金貸付 (R2.3～R4.9)

種類	件数・金額	件数	貸付金額
	緊急小口資金	522件	85,300,000円
	総合支援資金	453件	230,420,000円
	同延長	220件	109,410,000円
	再延長	213件	110,360,000円
	合計	1,408件	535,490,000円

⑩助けあい資金貸付事業(原資:社協助けあい資金基金、生活福祉資金の補完的事業)

市内に居住する生活困窮者に対し応急援護のために1人3万円以内で貸し付けました。

貸付内容

種類	件数・金額	件数	金額
	貸付金	6件	180,109円
	償還金	15件	203,309円

⑪資金貸付相談件数(社協の窓口、電話での相談受付件数)

121件

(4) 福祉団体への活動支援

社協11支部については福祉活動事業の企画や協力、また、千曲市身体障害者福祉協会、千曲市遺族会については事務的支援や事業の調整を行いました。

(5) 実習生の受け入れ

人材育成への協力として、福祉系大学等からの要請に応じ、社会福祉士資格の取得のための実習生を受け入れました。

- ・社会福祉士 相談援助実習

大学からの受け入れ 2人 180時間(8月～9月の期間)

## 8 ボランティア運営事業（会費事業）

### （1）ボランティア事業の運営

ボランティア活動の活性化や育成、各種団体との連携や調整を行い、誰もが等しく暮らしやすい地域の実現に向け各種事業に取り組みました。

#### ①運営委員会の開催

開催日	場所	主な内容
9月28日	社協	令和4年度事業計画について 福祉活動事業助成金について
3月13日	社協	令和4年度事業報告について 福祉活動事業助成金の審査について

#### ②機材の管理・貸出

プロジェクター、スクリーン、点字器、サロン用品他

#### ③ボランティア登録者

男性 731人 女性 1,502人 計 2,233人（団体、個人）

#### ④ボランティア保険加入数 (人)

保険の種類		加入者数
活動保険	活動A・Bプラン・天災Aプラン	1,852
行事用保険	行事A・Cプラン	5,854
総合補償	福祉サービス総合補償	1,607

#### ⑤相談連絡調整延数 481人

### （2）交流、活動の促進

第24回長野マラソン大会ボランティア支援、第5回福祉の夢まつり開催支援

### （3）情報提供

社協だより 社協ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、屋代有線市民新聞、ケーブルテレビ、各団体への通知 等

### （4）ボランティア養成講座等

#### ①サロンリーダー研修「方言かるた体験」

#### ②福祉教育推進事業 戸倉上山田中学校福祉委員会支援（高齢者との交流サロン）



（方言かるた体験）



（戸倉上山田中学校 学校サロン）



- ③健康ディスコ in 戸倉創造館（生活支援体制整備事業共催）
- ④千曲市で暮らしていこうフォーラム（生活支援体制整備事業共催）
- ⑤災害ボランティアセンター講習会
- ⑥障がい者レク・体操教室
- ⑦地域支え合い事業つなぐ研修会

#### （5）福祉教育の推進

- ①市内 17 校の福祉担当者に、学校での福祉教育活動の推進について協力依頼をし、意見交換をしました。
- ②戸倉上山田中学校福祉委員会支援(高齢者との交流サロン)
- ③福祉委員会への出前講師 4 回（戸倉上山田中学校）



（戸倉上山田中学校の福祉委員会の生徒と地域のボランティアさんとの物づくり体験交流会）

- ④パラスポーツ ボッチャ・シッティングバレー体験教室（埴生、八幡支部事業）  
感染予防のため中止
- ⑤フリーマーケット体験教室（上山田支部事業） 中止
- ⑥科学実験教室（五加支部事業） 中止
- ⑦マイ箸づくり教室（稲荷山支部事業）
- ⑧夏の更級アドベンチャーワールド(夏休みわくわく教室)（更級支部事業）
- ⑨五加小学校車いすツイインバスケットボール体験教室
- ⑩ふれあいフェスティバル（稲荷山支部事業）

#### （6）地域支え合い事業 “つなぐ”

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者のみ世帯への日常生活での困りごとに支援をする地域支え合い事業 “つなぐ” を実施しました。その際の対価として地域通貨券「ちくま券」（20分 200 円の対価）を発行しています。



（助っ人会員にお礼の地域通貨券を渡す）

つなぐ事業会員数

つなぐ会員（利用者）	助っ人会員（支援者）	繋いだ数	協力店舗数
133人	137人	30件	104店

※主な活動：ゴミ捨て、雪かき、買い物

## 9 特定相談支援事業（社協相談支援事業所）

障がい者の自立した生活を支えるため、抱える課題の相談や解決を図り、また、適切な福祉サービスの利用に向けた計画を作成しました。

### （1）相談支援実績

#### ①契約者 11人

相談支援の利用者延人数（基本相談者数と計画相談者数の合計）（人）

障がい者				合 計
精神	身体	知的	発達	
81	15	91	30	217

#### ②相談支援方法別延件数（件）

支援方法	電話	来所	訪問	合 計
相談件数	143	9	65	217

#### ③相談内容内訳件数（件）

相談支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	189
障がいや病状の理解に関する支援	0
健康・医療に関する支援	11
不安の解消や情緒安定に関する支援	4
保育・教育に関する支援	0
家族関係や人間関係に関する支援	2
家計・経済に関する支援	4
生活技術に関する支援	0
就労に関する支援	6
社会参加、余暇活動に関する支援	1
権利擁護に関する支援	0
合 計	217

### （2）関係機関との連携

千曲・坂城地域自立支援協議会 相談支援部会への参加

相談支援部会に3回参加し、社会資源の把握、事例をあげたグループワーク等、相談支援専門員、基幹相談支援センター等と連携を強化しました。

## 10 赤い羽根共同募金配分金事業

### (1) 福祉活動団体活動助成(共同募金配分金事業)

赤い羽根共同募金運動による募金の配分金により、福祉団体やボランティア団体、学校等の福祉活動に対し、それぞれの活動の要請に応じ助成金を配分しました。

#### 配分実績

種 類	主な配分先団体	件数	配分金額
高齢者福祉活動	千曲市老人クラブ連合会	1 件	100,000 円
障がい児・者福祉活動	千曲市身体障害者福祉協会 千曲市聴覚障害者福祉協会 ちくま手話サークル等	9 件	286,000 円
母子・父子福祉活動	千曲市ひとり親あんず会	1 件	100,000 円
児童・青少年福祉活動	市内 9 小学校、5 中学校、1 高校 9 児童館・児童センター	24 件	760,000 円
住民全般福祉活動	えんぴつの会、傾聴ボランティア、 園芸福祉ボランティア、認知症の人と 家族の会等	32 件	1,243,000 円
合 計		67 件	2,489,000 円

### (2) ふれあい活動助成(いきいきサロン、子育てサロンへの助成)

#### 配分実績

種 類	主な配分先団体	件数	配分金額
住民全般福祉活動	いきいきサロン、子育てサロン	45 件	1,026,300 円

サロン登録 106 団体 (高齢者関係 89 団体、子育て支援関係 17 団体)



(サロン活動の様子)

## 11 児童館・児童センター管理運営

市内9ヶ所の児童館・児童センターについて市から6年間の指定管理（R3年度～R8年度）を受け「児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにする」「保護者の就労と子育ての両立を支援する」ことを目的に多くの行事、催し物を企画・実施しました。

### （1）児童館・児童センター利用状況

就労支援の放課後児童健全育成事業である児童クラブ（登録）は、共働き家庭の増加により、近年増加傾向にあります。令和4年度の登録児童の延べ利用数は、昨年度と比べ5,267（95%）人減少しました。令和2年度の利用数とほぼ同数です。また、一時登録による利用者が254（104%）人、一般利用者が396（118%）人増加しています。いずれも年々増加傾向にあります。一昨年度以降は、コロナ禍の生活様式が常態化しており、感染予防対策を講じた上での児童クラブ利用のニーズが、よりいっそう高まっていると考えられます。

なお、埴生小学校余裕教室を活用した埴生小放課後児童クラブ（分室）は、1年目を終え、3年生を中心に有効利用されました。埴生児童センターおよび分室の延べ利用者数は、昨年度に比べ1,401人増加していますが、一日の平均利用人数は僅か緩和されています。

児童クラブ及び一般利用状況 太字は増加 (人)

児童館名	児童クラブ（登録）		児童クラブ（一時）		一般利用	
	延べ利用児童数	1日平均利用人数 (土日祝除く)	延べ利用児童数	1日平均利用人数	延べ利用児童数	1日平均利用人数
埴生児童センター	<b>16,331</b>	66.9	<b>1,360</b>	<b>4.6</b>	<b>38</b>	0.2
埴生小分室	<b>5,017</b>	20.8	<b>339</b>	1.3	0	0.0
稲荷山児童センター	<b>14,899</b>	<b>61.3</b>	523	1.8	0	0.0
屋代児童センター	9,508	39.1	677	2.3	<b>36</b>	0.1
屋代小分室	1,710	7.0	179	0.6	0	0.0
八幡児童センター	9,612	39.3	792	2.7	<b>1</b>	0.0
東部児童センター	10,266	41.9	744	3.8	<b>4</b>	0.0
戸倉児童館	8,952	36.6	<b>512</b>	1.7	0	0.0
更級児童館	5,697	<b>23.2</b>	419	1.4	5	0.0
五加児童館	11,815	48.5	<b>1,505</b>	<b>5.2</b>	0	0.0
上山田児童館					<b>2,567</b>	7.2
合計	93,807		7,050		2,651	

(2) 子育て支援利用状況

子育て支援として、主に未就学児と保護者を対象に午前中の開館や行事等を予定していましたが、令和3年度より、新型コロナウイルス感染防止に伴う自粛措置が継続されており、「子育てひろば」等についても未就学児等の十分な受け入れができませんでした。全館では、一昨年度に比べると401人増加しておりますが、上山田児童館を除くと221人減少しています。上山田児童館のみ大幅に増加傾向にあるのは、他館の利用者が上山田児童館の利用に流れたと推察されます。

利用状況 太字は増加 (人)

児童館名	子育て支援利用者数	延べ利用保護者・乳幼児数	1日平均利用人数
埴生児童センター		73	0.4
稲荷山児童センター		57	0.3
屋代児童センター		84	0.5
八幡児童センター		50	0.2
東部児童センター		41	0.2
戸倉児童館		10	0.1
更級児童館		76	0.9
五加児童館		28	0.2
上山田児童館		<b>1,671</b>	<b>4.8</b>
合計		<b>2,090</b>	

## 12 介護保険事業

いまだに収まらない新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、居宅介護支援事業をはじめ訪問介護、通所介護を運営しました。

介護保険収入は、通所介護等において新型コロナウイルス感染拡大を受け、利用者の利用控えや、数日間休業をした影響もあり収入面では想定より少ない収入になりました。

また、職員は日頃の介護に加え新型コロナウイルスの感染対策にも気を配りながら日常業務を行っているため負担感が増えています。なお、ハローワーク等に求人募集しても応募がなく、人員不足を背景に職員の高齢化が進んでいます。

介護保険指定事業所名	種別
社協居宅介護支援事業所	居宅支援
社協ヘルパーステーション	訪問介護
更埴デイサービスセンター	通所介護
戸上デイサービスセンター	通所介護
戸倉短期入所事業所（休止中）	短期入所

介護保険収入 (単位：千円)

年 度	R4	R3
介護保険収入	237,612	261,752

### (1) 居宅介護支援事業

介護サービスを受ける際に必要となる支援計画(ケアプラン)並びに介護予防支援計画の作成を行いました。介護全般に関する相談をはじめ、利用者の要望に沿ったサービスを提案し、必要な機関や介護サービス事業者との連絡・調整を行いました。

#### ① 社協居宅介護支援事業所

開設日数：243日（祝日を除く、月～金曜日）

平均作成件数：257.8件/月（前年度215件）

ケアマネジャー 一人あたり件数/月：32.2件（前年度30.7件）

支援計画(ケアプラン)作成件数(介護度別) (件)

区 分	R4	R3
介護予防・要支援	361	155
要介護(1～5)	2,658	2,441
合 計	3,019	2,596

### (2) 訪問介護事業

介護が必要な高齢者に対し、自立した日常生活が送れるよう入浴や排せつ介助等の身体介護や炊事や洗濯、清掃等の生活援助など、身体の状態に応じたサービスを提供しました。

利用者数・延べ利用回数ともに増加しました。

① 社協ヘルパーステーション

開設日数：365日

1日平均利用回数：22.7回（前年度20.0回）

平均介護度：3.2（前年度2.4）

利用状況（介護度別） (人)

区 分	R4	R3
要支援（事業対象者等含む）	77	96
要介護（1～5）	445	393
合 計	522	489

延べ利用回数（サービス別） (回)

区 分	R4	R3
介護予防（生活支援総合事業含む）	351	432
身体介護	7,889	6,958
身体生活	0	0
生活援助	82	245
合 計	8,322	7,635

(3) 障がい者訪問介護事業（自立支援事業）

ヘルパーが障がいのある方のお宅へ訪問し、家事の援助や身体介護サービス、外出時の支援を行いました。

利用状況

区 分	R4	R3
延べ利用人数	152人	159人
延べ利用回数	654回	729回

延べ利用回数（サービス別） (回)

区 分	R4	R3
身体介助	87	88
同行援護	85	84
通院介助	9	9
家事援助	473	548
計	654	729

(4) 通所介護事業

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者に対し食事、入浴、機能訓練などのサービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的、精神的な負担軽減に心がけ、事業を展開しました。

地域に必要とされる、特色あるデイサービスセンターとなるよう努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや事業所の休業等がありました。

利用者・延べ利用人数は増加傾向にあります。

利用状況（事業所別） (人)

事業所名	R4		R3	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
更 埴	1,140	8,182	962	7,935
戸 上	1,518	10,315	1,374	8,273
合 計	2,658	18,497	2,336	16,208

① 更埴デイサービスセンター（定員 35 人／日）

開設日数：310 日（月～土曜日）

1 日平均利用者数：26.2 人（前年度 25.8 人）

稼働率：74.6%（前年度 73.4%）

平均介護度 1.7（前年度 2.1） 中重度割合 30%（前年度 31%）

利用状況（介護度別） (人)

区分	R4		R3	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	432	1,948	340	1,691
要介護	708	6,234	622	6,244
合計	1,140	8,182	962	7,935

② 戸上デイサービスセンター（定員 40 人／日）

開設日数：310 日（月～土曜日）

1 日平均利用者数：33.6 人（前年度 27.1 人）

稼働率：83.7%（前年度 67.4%）

平均介護度：1.7（前年度 1.8） 中重度割合 27.3%（前年度 25%）

利用状況（介護度別） (人)

区分	R4		R3	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	527	2,523	280	1,436
要介護	991	7,792	1,094	6,837
合計	1,518	10,315	1,374	8,273

(5) 短期入所事業

① 戸倉短期入所事業所 【地域密着型事業所】

休止中



デイサービス活動



(新聞紙でエコバック作り)



(書道教室)



(運動指導員による機能訓練)



(料理教室)



(戸上デイサービスの温泉風呂)



(雑巾を小学校へ寄付)

### 13 身体障がい者等支援事業

(1) 緊急短期保護事業

令和3年度末をもって休止中

(2) 貸切温泉風呂事業

新型コロナ感染防止の観点から休止中

### 14 貸出事業

(1) 車いす貸出し事業

高齢者、障がい者に対し一時的(短期間)に車いすを貸出しました。(回)

年 度	R4	R3
貸出回数	134	73

(2) 移送自動車(福祉車両)の貸出事業

高齢者、障がい者に対し通院等の外出支援のため、車いすまたは寝台(ストレッチャー付)のまま乗降可能な福祉車両を貸出しました。

利用状況

		R4	R3
登録者数		89 人	68 人
福祉 車両	車いす乗降車両(軽)	372 回	303 回
	寝台(ストレッチャー付)車両	49 回	62 回
計		421 回	365 回

### 15 実習生等の受入れ

(人)

実習者	人数	実習受入れ先
松本大学	2	戸上デ <sup>®</sup> イービ <sup>®</sup> センター
福祉の職場体験(高校生)	2	更埴デ <sup>®</sup> イービ <sup>®</sup> センター
インターンシップ(高校生)	1	〃
産業現場等における実習 (稲荷山養護学校高等部)	1	〃
信州スポーツ医療福祉専門学校	1	ヘルパ <sup>®</sup> ーステーション
計	7	

## 16 チューリップの家事業

## (1) 事業の目的

障害者総合支援法に基づき、一般企業での就労が困難な障がい者を対象に、働く場を提供するとともに、一般就労等に向けた知識・能力の向上に必要な支援・訓練を行いました。

## (2) 事業実績

年度 項目	R4	R3
開所日数	245日	243日
登録実人員	20人	19人
通所延人数	3,729人	3,684人
1日平均通所者数	15.3人	15.2人
喫茶 開店日数	84日	84日
喫茶 来店者数	1,708人	2,052人
喫茶 売上	953,796円	1,022,236円
(菓子 売上	3,836,447円	4,199,539円
自主製品等販売額	644,310円	764,171円
受託費	486,037円	375,030円

- ① 就労継続支援B型事業所 定員20名 (R4登録実人員20名、男9名、女11名)
- ② 職員8名 (うち、介護福祉士1名)
- ③ 作業内容：受託(箱折り等)、自主製品製造販売、菓子製造販売、喫茶店営業

## (3) 就労事業による収入と利用者支援の実績

## ① 就労事業による収入

(単位：千円)

年度 項目	R4	R3
収入総額	5,920,590円	6,360,976円

## ② 工賃の支払い

(単位：円)

年度 項目	R4	R3
工賃総額	3,415,000円	2,916,600円
一人当たり月平均工賃	15,162円	12,848円
時給換算	289円	301円

## (4) 一般就労への移行実績

1名 (雇用先、6か月以上雇用継続中)